



「(一社)南関ふるさと応援団」のみなさん (詳細記事 P16) 社員: 5人 理事: 10人

活動内容: 町の産業の活性化を目指し、ふるさと応援寄付金の返礼品に関する業務や南関町加工品開発センターの施設の管理など行う団体。

南関町議会

検索

議会のホームページはこちらから▶



P2. 議案審議

P4. 決算比較

P6. 委員会報告

P7. 活動報告

P8. 一般質問

P16. 生の声を聴く

この議案について質疑されました！

1 〈議案第44号〉南関町立学校のあり方検討委員会設置条例の制定について

全会
一致 可決

地方自治法第138条の4第3項の規定により、町立学校のこれからの教育や少子化に対応した新たな小学校の適正規模・適正配置などの学校のあり方について検討するため設置に関する条例を定める。

(福山美佳 議員) 小学校だけではなく、全体のことを指しているのか、詳しく説明をお願いしたい。

(教育課長) 将来にわたっての教育環境の方向性をしっかり議論する必要があるというところで、義務教育課程に関わる全ての部分について議論をしていく。

2 〈議案第45号〉令和5年度南関町一般会計歳入歳出決算認定について

全会
一致 認定

歳入総額 65 億 5,962 万 2,549 円 歳出総額 63 億 8,088 万 6,988 円
歳入歳出差引残額 1 億 7,873 万 5,561 円 (翌年度歳入へ繰越)

(杉村博明 議員) 不用額について、何で年々上がってきているのかははっきりとおきたいと思うので、町長から答弁をお願いしたい。

(町 長) 経費削減ということで、それぞれの課も、予算を残して次年度に繰越したり、町の執行を抑えたり努力をした結果。不用額が残すことが良いとは思っていないが、財政上も残しながら、その次の年に財源を生かしていくということで考えている。

(境田敏高 議員) 5年度の歳出歳入の決算の起債は3億8,299万だが、5年度の全体の金額は、77億7,590万。

この中に後で交付税が算入される。真水はどのくらいになるのか。

(総務課長) 算入額が、53億9,365万4,000円。差引くと真水に当たる部分が23億8,225万2,000円。

これが交付税の対象外で、一般財源の分とっていいかと思う。

(境田敏高 議員) 令和5年度の町の決算で財政は健全に運営できたのか、自治体の本来の目的があり、全体として住民福祉に本当に役に立ったのか尋ねる。

(総務課長) 令和5年度においては、心配なく健全な運営ができていると思っている。



この議案について質疑、討論されました！

3 〈議案第57号〉南関町副町長の選任につき同意を求めることについて

賛成9
反対2 同意

南関町副町長に坂田浩之氏を新たに選任するため、地方自治法第162条の規定により議会に同意を求める。

質疑 (立山比呂志 議員) 令和5年10月から、こんなに長く副町長の選任をしなかったその意向と今回議長が副町長の件を一般質問されて短時間で副町長を選任されたと思いますが、その町長の思いを聞かせてほしい。

(町長) 議長自ら質問をしていただき、早く副町長を置いて、町の振興発展につなげてほしいという意向もあったと思い、この一般質問は非常に重いと私も受け取りました。私の中では、坂田氏に対して、この人とぜひやりたいと、自分の中で決めていた。ただ、提案の時期について、迷いがあり、提案は今回の議会の当初からの議案として上げていなかった。しかし、9月2日の議長の思い、そして、9月3日の南関米のブランド化と新うから館の質問があり、一般質問も非常に私を決断させた一つである。もう一つは、9月3日の一般質問終了後、特別大きな案件である企業立地の打合せを行い、これからスタートを切っていきますが、職員だけではなく、私はもちろん前面に立って動いていくが、そこで副町長がどうしても欲しいと、そして職員と協力して仕事をしてほしいと、つくづくそのときに思いました。時期は、まだ先でいいと思っていたが、1日も早く副町長と一緒に仕事をさせていただき、町民の皆さんのために、職員が働きやすい環境のためにも、南関町の発展につながるものではないかと思い、追加提案した。

討論

反対
意見

伊藤博長 議員 ▶ 元総務課長の坂田氏は優秀な方だと思うが、佐藤町長になり10年以上が経ち組織がマンネリ化やワンマン化していないか。町長が気づいていないことに対し意見を言う、例えば、民間出身の方、南関町を外から客観的に見られる人材が必要だと思う。町民はそういう新しい風を期待しているのではないかと思います。反対意見とする。

杉村博明 議員 ▶ 県からの副町長あたりはどうかと思うが、これを逃したらまた副町長が決まらない。町の発展にも時間がかかる。町長もしっかり考えられて坂田氏を選任されたと思う。また元総務課長で町を1番知り尽くし、いろんな面で尽力されてきている。即戦力として動いてもらうには1番適していると思う。

賛成
意見反対
意見

中村正雄 議員 ▶ いろんなところで経験された、行政マンや、民間で活躍された方たちもいると思う。そういう方を副町長で迎えて、一緒になって時代の変化に対応できる力をつけることが必要ではないか。3期連続で役場OBの方たちが副町長として佐藤町長とともに進められたが、4人目の副町長にふさわしいのはやはり外からの方だということで、一つ目反対意見とする。二つ目の反対意見は5日前の一般質問の答弁に対しての重みをどのくらい認識されているのか、この追加議案で疑問に思った。自分の思いは大体描いてはいるが、まだ広く町民の方たちの意見も聞いていきたいと答弁された。約1年近く不在の期間があるので、答弁のとおりもう少し、町民の方たちたちの声を聞かれてから副町長の人事案件を、出してもよかったのではないかとということで反対意見とする。

討論

賛成意見

立山比呂志 議員 ▶ 町長の思いとしては断腸の思いで坂田氏を決めたのではないかと思います。即戦力になるには、町を分かっている方がいいと私も思っている。今後、人口減少はもちろん、もっと企業進出の多分計画がたくさんあるので、これに乗っていかないと、町はもっとすたれると思う。そのために町を知っている方を強く私は望みます。

議員ごとの採決状況▶

○：賛成9

×：反対2

福山	伊藤	矢野	西田	北原	中村	杉村	井下	境田	山口	立山
美佳	博長	修一	恵介	浩一郎	正雄	博明	忠俊	敏高	純子	比呂志
○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○



議案審議が可決され、これから変わります！

4

〈報告第2号〉令和5年度南関町財政健全化判断比率の状況について

報告

町長から提出された健全化判断比率及びその算定となる基準を記載した書類が、早期健全化基準を下回っており、特に指摘すべき事項はない。

5

〈議案第43号〉専決処分の報告及び承認を求めることについて（令和6年度南関町一般会計補正予算（第2号））

全会一致承認

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ999万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ657万6,719千円とする。

6

〈議案第46号～50号〉令和5年度南関町特別会計歳入歳出決算認定について（国民健康保険・簡易水道事業・介護保険事業・浄化槽整備推進事業・後期高齢者医療）

全会一致認定

7

〈議案第51号〉令和5年度南関町下水道事業会計決算認定について

全会一致認定

8

〈議案第52号〉令和6年度南関町一般会計補正予算（第3号）について

全会一致可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ8,839万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ66億6,510万円とする。

9

〈議案第53号～55号〉令和6年度南関町保険特別会計補正予算について（国民健康保険（第2号）・介護保険事業（第2号）・後期高齢者医療（第1号））

全会一致可決

10

〈議案第56号〉熊本県後期高齢者医療連合会規約の一部変更について

全会一致可決

熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する。

補正予算の注目事業

まちづくり課

南の関うから館備品購入費 3100万円 交流機能部分及び図書館の家具、備品等購入費

建設課

農地等災害復旧費（令和6年6月27日～7月25日梅雨前線豪雨） 1303万円
河川等災害復旧費（令和6年6月27日～7月25日梅雨前線豪雨） 498万円

健康推進課

健康増進事業費 がん患者アピアランスケア推進事業 12万円
がん患者の外見の変化を補完するウィッグや乳房補正具等の購入費用補助
助成対象経費の2分の1の額 上限 20,000円×6件



教育課

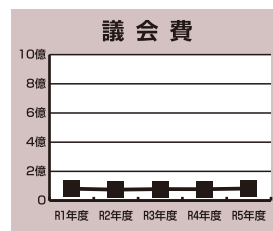
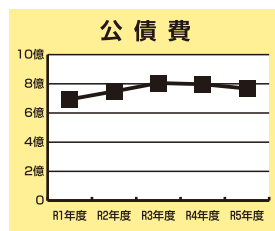
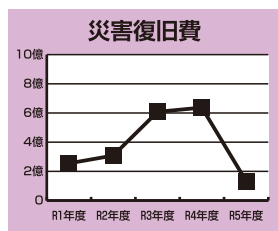
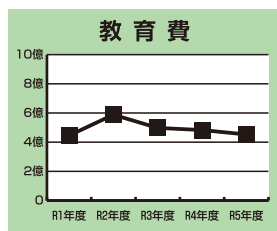
地域部活動推進事業費 240万円
社会教育費県委託金 地域スポーツクラブ活動体制整備事業
地域スポーツ環境の整備に先進的に取り組む重点地域が選定され、全国で7県（熊本含む）が指定され、熊本県では大津町と南関町の2町が重点地域として事業に取り組む委託金。
（同じ課題対策をする先進地視察研修費・AR（拡張現実）スポーツ体験会実施とそれに伴う委託料・消耗品費など）

基金残高の推移…町の貯金

	基金合計	財政調整基金
令和3年度	29億5,249万円	8億8,085万円
令和4年度	30億9,916万円	9億4,186万円
令和5年度	32億9,323万円	9億8,788万円

地方債残高の推移…町の借金

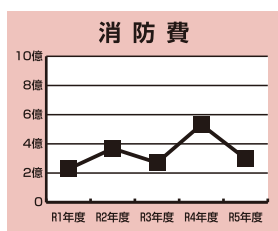
	一般会計 地方債残高合計
令和3年度	82億6,060万円
令和4年度	81億3,111万円
令和5年度	77億7,591万円



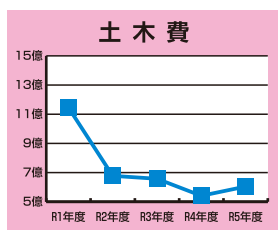
教育費
4億5,278万1千円
7.1%

災害復旧費
1億3,315万6千円
2.1%

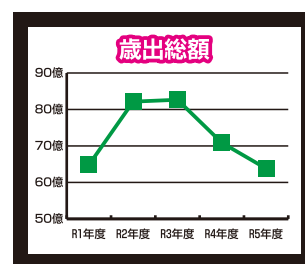
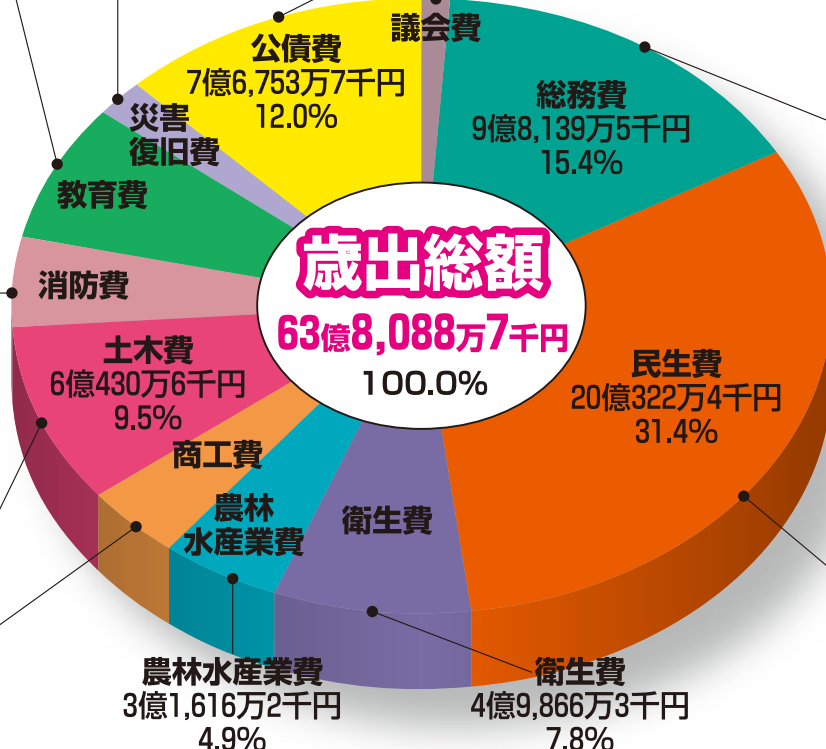
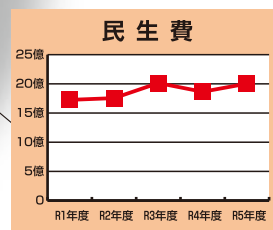
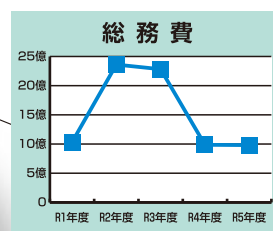
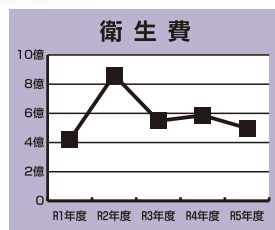
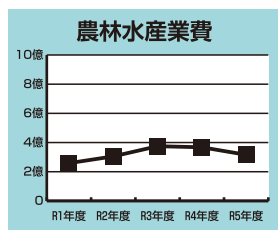
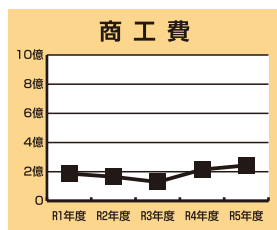
議会費
8,236万4千円
1.3%



消防費
2億9,801万円
4.7%



土木費
2億4,328万9千円
3.8%



財政諸指数の推移

	標準値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実質収支比率※⑤	3～5%が望ましい	4.2%	3.3%	5.4%	5.3%	4.3%
経常収支比率※⑥	比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいる	91.9%	92.5%	88.5%	91.4%	89.2%
財政力指数※⑦	1に近いほど良好	0.41%	0.41%	0.40%	0.39%	0.38%
実質公債費比率	25%を越えると起債発行が制限される	8.1%	8.5%	8.4%	8.4%	8.1%

※⑤実質収支比率

実質収支の適否を判断する指標。

※⑥経常収支比率

一般財源のうち毎年経常的に支出される経費(人件費・公債費等)に充当されたものが占める割合。

※⑦財政力指数

財政力の豊かさを示す指数。



研修先：北海道虻田(あぶた)郡留寿都(るすつ)村

日時：令和6年7月30日(火)

参加者：北原浩一郎、福山美佳、立山秀喜、
山口純子、井下忠俊、中村正雄

研修内容：子育て支援策及び
「るすつ子どもセンターぽっけ」施設視察

留寿都村は、年間160万人の観光客が訪れるルスツリゾートを擁し、そこが雇用の場となり若い世代の職住近接が実現し、高齢化率が28%の自治体である。

「暮らしを楽しむ村」を村づくりのテーマに掲げ、子ども達を応援する多くの村独自の事業がなされている。18歳までに受けられる支援策を時系列にまとめた「子育て応援ガイドブック」は、利用者には大変わかりやすい。出産祝い金と「君の椅子」贈呈や小学5・6年生及び中学生を対象にした無料の放課後まなびサポート事業、オンライン学習塾の受講料を全額助成する放課後学習支援事業、生後18ヵ月間月額3000円助成する紙おむつ等の購入費の助成、高校や大学等の進学を応援する返済の必要のない奨学金を給付する子育て支援奨学金など、村の思いが伝わってくる。

「るすつ子どもセンターぽっけ」は保育所、子育て支援センター、放課後児童クラブ、小型児童館、こども家庭センターが一つになった複合施設で、教育委員会管轄のもと教育、福祉、保健の連携と支援の強化が図られていく仕組みが作られていた。

1900人弱の村ながら、元気、希望、活力を感じた。子ども達への有形無形の支援こそが、南関町の未来を作ると実感した研修となった。



研修先：北海道夕張郡長沼町

日時：令和6年7月30日(火)

参加者：杉村博明、西田恵介、境田敏高、立山比呂志、
矢野修一、伊藤博長、事務局長 福山光明

研修内容：地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部中央農業試験場の視察

視察研修では研究主幹金子剛氏より挨拶があり、試験場の概要と北海道の農業・農村の概要等詳細に説明を受けました。北海道の令和3年の農業産出額は1兆3,108億円で、全国の14.8%を占めている。北海道は地形的に大きな広がりを持ち、気象や立地条件が地域によって異なっていることから、それぞれの地域において特色ある農業が展開されている。

道央は稲作を中心に、野菜、軽種馬、肉用牛など多彩な農業で。道南は稲作や施設園芸、畑作、果樹などの集約的な農業で道東では大規模で機械化された麦、豆、馬鈴薯などの畑作や酪農畜産等多岐にわたり農業生産が行われているとのことであった。

耕地面積は近年横ばいで推移しており、令和4年は114万1000haで認定農業者などの担い手への農地の利用集積は年々進み令和4年度末の集積率は91.6%農家戸数は減少傾向で推移しているものの令和4年は約3万2千戸。農業就業人口の65歳以上率は約4割と高齢化が進行しているとのことであった。

また、農業試験場は各分野ごとに道内の各地域分散され、北海道全地域に分散されていた。

熊本県や南関町とは比較にならないが、農業に対する想いや悩み事はどこも一緒であることが分かった。

研修後、試験場の圃場で試験栽培されている大豆の生育状態や新種の栽培試験箇所を視察を行った。近年の異常気象等で作物の生育も変化しており、試験場が担う役割も増してきているが、職員数の増加は見込まれないとのことであった。



大盛況！ペタリング大会（青少年健全育成活動）

【日 時】 令和6年8月2日(金)

午後1時30分～

【場 所】 南関町交流センター

【主 催】 南関町地域婦人会

【参加者】 65 名

「地域の子どもは地域で守ろう」青少年健全育成活動で、南関町地域婦人会は毎年夏休みの一日、子供達とのふれあいの行事を実施されました。

南関第二小学校児童クラブ、南関町地域婦人会のみなさん、町議会議員も多数参加しました。

ペタリング大会は猛暑の中でも、もってこいの室内レクリエーションです。総勢 65 名をチーム分けし、ペタリングは初めての子供もいましたが理解も早く、ボールが上手く点数位置に入ると大歓声で、熱戦が繰り広げられました。

少子化の中、児童数も減っていますが、現代っ子達は時代の波に乗って逞しく育っています。子供から学ぶことも多く、ペタリングを通していっぱい元気をもらいました。

南関町地域婦人会は「社会教育団体」として頑張っておられ、今後も地域を盛り上げていただきたいと思います。



玉名郡町村議会議員研修会について

【日 時】 令和6年8月23日(金)

午後1時30分～

【場 所】 長洲町中央公民館

【参加者】 58 名（各町村議員と
議会事務局職員など）



地方議員の役割や責任の重要性について、また地方議員が地域社会において果たすべき役割と、住民の声を反映するための活動について理解を深めることを目的に玉名郡4町議会合同研修会が開催された。

内容は講師として、熊本大学 伊藤洋典氏により「地方議会の役割と質問・質疑の在り方」の講演があった。

今回の研修を終えて質疑の在り方を見直し、より効果的で建設的な質問を行うことで、地方自治の質を高めることができると思う。

講演終了後、パタンク大会と懇親会があり、他の町の議員の皆さんとの情報交換が活発に行われ、親睦と融和を深めた。

ペタリング大会では、玉東町が優勝となり、南関町が準優勝となった。

- ・一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
- ・「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。6月議会分は9月に公開予定。



議 長

立山秀喜

副町長不在について

現在、副町長が不在になって、一年近くなるが問題ないか。町長の公務は非常に過酷であり、会議や長期出張なりで、職員にもかなりの負担がかかっていると思う。また急な来庁者が来られた場合にも、対応にかなり苦慮しているのではないかと思います。今後どのようにしていくのか尋ねる。

（町長） 前副町長が令和5年10月4日に退任されてから、不在となっている。その間、現在に至るまで業務に支障が出るような問題は特に発生してはいないと考えている。ただ、各種審議会、検討委員会等では、副町長が会長と明記されているので、委員や職員の皆様には、負担をかけているのではないかと考えているが、各担当課長の責任のもと対応しているので、従来どおりの運営ができていていると思う。

副町長は、町長が事故や病気入院等で欠けたときは、職務代理者として町長の役目をこなすこととなっている。政策に助言を受けたり職員の働きやすい職場環境調整を手伝ってもらえる補佐役として必要と考えているが、選任については、議会の同意が必要になるのでご理解をいただ

「副町長不在について」 「町道管理と基盤整備状況について」

ける方を塾慮しているところである。

町民や職員からも副町長はどうなっているのだと質問を受けているが、早めに対応して行く方がいいと思う。遅くとも12月議会、もしくは臨時議会を開いても早めに決めていた方がいいと思う。外部の民間の方で、また和水町では県の方から副町長を任命されているが町長の考えとしてはどう思うか。

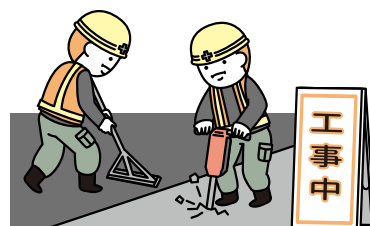
（町長） 今の希望というか思っているのは、町民の皆様、そして職員が働きやすい環境が分かっている方、長年役場で経験を積んだ職員、そういった方がいいと思っている。それを誰にするかというのはまだ熟慮しているところである。民間の方、県の方でもいいですけど、これからしっかり検討していき早めに、副町長を作りたいと思う。



町道管理について

町道の管理はどのようになっているか。4校区の各区域で道路の維持管理を年2～3回道路整備を行っているが、今の管理費用は1メートル当たり10円となっている。今日の状況を見ると、燃料など色々なものが高騰しているので検討したらどうか。

（町長） 総務課長の方から財政等も含めて協議してみたいということだけれども、次の代表区長会でどうすべきか、協議していきたいと思う。

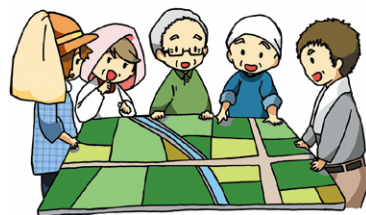


基盤整備状況について

農業振興について、基盤整備の進捗状況はどうなっているか。

（町長） 27地区の整備が完了している。整備率は田 38.6%・畑 19.5%となっている。近隣市町よりかなり低い状況である。

上長田地区は令和7年度で事業完了、日明・今地区は12年度に事業完了、久重南地区は令和5年度から12年度に事業完了、長山地区は令和7年度より工事に着手する計画になっている。このほかにも町内4地区の整備事業を推進しているところである。



『高齢者ひとり暮らしの現状と課題と対策について』

高齢化と過疎化がますます進む中、特にひとり暮らしの高齢者の対策の問題、課題について

現在、町内高齢者 75 歳以上は、何人かを尋ねる。

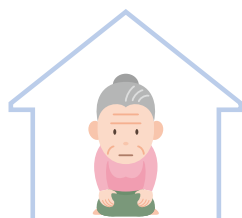
(町長) 町内高齢者（75 歳以上）は令和 6 年 6 月 30 日現在で 2,082 人（人口比 23.8%）である。

ひとり暮らし高齢者は何人かを尋ねる。

(町長) ひとり暮らし高齢者は、令和 2 年の国勢調査で 65 歳以上の高齢独居世帯は 561 人で民生委員の自宅訪問での対象者は 300 人強である。

家族同居だが、昼間ひとり暮らしと想定される高齢者は何人かを尋ねる。

(町長) 家族同居だが、昼間ひとり暮らしと想定される高齢者は、家族の形態等様々なケースが考えられ、正確な人数は把握できないが国勢調査によると一般世帯数に占める高齢者を含む世帯数の割合は 64.7%となっている。その中で高齢者世帯は 1 人ではなく、2 人、3 人の場合もあり、その他実際には入院や施設入所のケースも考えられる。



緊急連絡制度があるが、詳細の説明を求める。

(町長) 在宅ひとり暮らし高齢者に対し緊急通報装置を設置することにより、急病等の緊急時に適切な対応を図り、福祉の増進に資することを目的としている。利用対象者は、在宅のおおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者であって、心臓疾患などの持病を有する方や、日常生活を営むうえで常時配慮が要する方が対象となっている。

今現在の活用者は何人かを尋ねる。

(町長) 緊急通報装置は、ひとり暮らしの方々にとって重要な安全対策の一つとして位置付けており、設置希望者も増加傾向の中で、今年度も新規の申し込みがあっており、現在の設置者数は 7 月末現在で 95 人である。

緊急連絡制度の周知啓発はできているかを尋ねる。

(町長) 緊急連絡制度の周知及び啓発活動については、健康推進課地域包括支援センター、民生委員、社会福祉協議会等へ周知を行い、情報を共有し、充実した取り組みができていると思っている。また高齢者の安全・安心を図るため引き続き周知啓発に取り組んで行く。



文教厚生常任委員
広報常任委員

山口純子

(福祉課長) 今、月に 1 回ひとり暮らしの家庭を民生委員が訪問している。また、社会福祉協議会や福祉課等へ直接尋ねられる場合もある。必要な方へは、設置の検討のお願いをすることで周知啓発を行っている。希望の方には設置する方向で実施していきたいと思っている。

まとめ

高齢者のひとり暮らしは様々なリスクがある。見守りサービスや、介護保険サービス、人との積極的なかわり等しっかりとした対策を取っておけば、リスクを軽減することが可能であると思う。高齢者の家族が安全、かつ安心して話し合い、各家庭にあった対策をとることが重要だ。そのためには、様々な支援やサービスもひとり暮らしの高齢者が利用できなければ何もしない。町から直接的な支援対策を強くお願いしたい。

